

今週のビルマのニュース  
2009年10月9日【0938号】

## アウンサンスーチー氏が軍政や西側外交官と会談

・民主化指導者アウンサンスーチー氏は今週、軍政の連絡担当相と2度会談した。氏が軍政トップ・タンシュエ将軍に書簡を出したことを受けてのもの（下記参照）。氏が率いる国民民主連盟（NLD）はこれらの会談を歓迎したが、「ビルマの政治・経済危機を解決するにはスーチー氏とタンシュエ将軍の直接対話が必要」と述べた（8日イラワディ）。

・アウンサンスーチー氏はまた、9日に英国大使、米国臨時代理大使、オーストラリア公使と会談した。詳しい内容は不明だが、米大使館によれば、制裁についても話し合われた。三か国ともビルマに制裁を課している（9日AFPほか）。

【背景】スーチー氏は9月末にタンシュエ将軍に書簡を出し、「制裁を解除するために軍政と協力する用意がある」と表明。また、制裁を課している国から既存の制裁の効果等について説明を受け、国民民主連盟（NLD）の幹部らと協議したいとしていた。

## 日メコン外相会議～ビルマ関連の発言など

・カンボジアで3日、第二回日メコン外相会議が開かれた。ビルマに関する主な表明は以下の通り。

・[2010年総選挙] 軍政のニャンウィン外相との会談で岡田外相は「欧米の政策が変わってきている今はミャンマーにとってチャンスであって、総選挙は国際社会がミャンマーに理解を示せるかどうかのきっかけとなる」と述べた。現在自宅軟禁されているアウンサンスーチー氏についてニャンウィン外相は「氏の行動次第で自宅軟禁の期限内であっても恩赦を行う可能性がある」と述べた（3日外務省）。

・[北朝鮮と核兵器開発] 同じ会談で岡田外相がビルマの北朝鮮との関係や核兵器開発疑惑について問うたところ、ニャンウィン外相はビルマは「原子力の平和利用については関心があるが、核兵器を持つべき理由はない」と述べた（同上）。

・[長井健司氏] さらに同じ会談で岡田外相は、2007年9月に映像ジャーナリストの長井健司氏が殺害された事件の真相究明と、カメラ等の遺留品の返還に協力してほしいと述べた。これに対しニャンウィン外相は「同事件は多くの人が集まり混乱した中で起きた。遺留品については全国で捜索を行っているが未だ見つかっていない」と述べた（同上）。

・[米国の政策転換] タイのカシット外相との会談で岡田外相は、「最近米国の[ビルマ]政策は日本のアプローチに近づいてきており、日タイで緊密に協力したい」と述べた（同上）。

## 注目記事

マイケル・グリーン（CSIS上級顧問・日本部長）  
「オバマ政権のアジア政策について」（フォーリン・ポリシー誌ブログ、英語）  
\*上記岡田外相の「米国の[ビルマ]政策は日本のアプローチに近づいてきている」発言に言及。  
<http://shadow.foreignpolicy.com/blog/12381>

## ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

10月7日 草の根無償資金協力  
サイクロン被災地域に消防・救急車両7台

## イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、6日～9日 15～16時）

・アウンサンスーチーさんと全ての政治囚の釈放を求めるデモ行進 主催：在日ビルマ人民民主化活動家のみなさん（大塚台公園集合、11日 17時出発）

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会「マウンマウンティンの世界」（大阪ボランティアセンター、16日 19時～）

・在日ビルマ難民たすけあいの会主催 聞くことから始めるビルマ難民ソーシャルワーク第一回「証言・軍事政権下での生活と民主化デモ」（南大塚地域文化創造館、18日 18時）★要申込

## もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165
--